

くり

【令和6年1月1日現在の農薬登録内容】2024版

※ 太枠は重要防除です。

月(時期)	対象病害虫	区分	使用農薬(倍率)
1月上旬 ～ 2月下旬	胴枯病		トップジンMペースト
注) 剪定による切り口及び胴枯病の患部を健全な部分まで削りとった切り口に塗布する。			
6月中旬 ～ 6月下旬	アブラムシ類	劇	モスピラン顆粒水溶剤 4000倍
	実炭疽病		ベンレート水和剤 3000倍
6月下旬 ～ 7月下旬	カミキリムシ類		トラサイドA乳剤 200倍 (樹幹部に十分散布)
注) トラサイドA乳剤200倍は葉にかかると薬害を生じるので、樹幹にのみ十分散布			
7月 上～下旬	実炭疽病		ジマンダイセン水和剤 600倍
8月上旬	モモノゴマダラノメイガ		フェニックスフロアブル 4000倍 (収穫前日まで)
	実炭疽病		ベンレート水和剤 3000倍 (裂果前但し収穫14日前まで)
9月	クリシギゾウムシ	劇	アグロスリン水和剤 3000倍 (収穫7日前まで)
	注) 早生品種との混植園では、早生品種を収穫した後に散布を行う。		

「農薬の使用は、使用基準を確認し、周りの他作物に農薬が飛散しないようにすること」

ブルーベリー

月(時期)	対象病害虫	区分	使用農薬(倍率)
1月 ～ 2月	カイガラムシ類		機械油乳剤95 14倍
注) 枝枯病の被害枝は剪除する。			
4月中旬 ～ 5月中旬	注) 花腐れ発生部は剪除する。		
5月中旬	斑点病・灰色かび病		ストロビードライフフロアブル 3000倍 (収穫14日前まで)
6月下旬 ～ 8月下旬	オウトウショウジョウバエ	劇	モスピラン顆粒水溶剤 4000倍 (収穫前日まで) 又は ディアナWDG 10000倍 (収穫前日まで) 又は
注) 過熟果、落果はオウトウショウジョウバエの発生源になるので適切に処分する。			

○白紋羽病について

随時注視し、早期発見に努める。発病株は根部を露出し、罹病部位を除去した後にフロンサイドSC500倍(50～100 μ l/樹)を土壌灌注する。

「農薬の使用は、使用基準を確認し、周りの他作物に農薬が飛散しないようにすること」